

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年11月11日（金）10時00分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官、佐藤室長補佐、新井安全審査官、小西係長、

塩唐松係長、高木係長

松田室長補佐、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

前田原子力運転検査官、松沢原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当11名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 『福島県原子力発電所安全確保技術検討会が取りまとめた8項目の要求事項』に対する検討状況について
    - ✓ 要求事項について
    - ✓ 検討状況について
  - 3号機使用済燃料プール内の制御棒等高線量機器取り出しについて
    - ✓ スケジュールについて
  - 使用済燃料プール水質状況について
- 原子力規制庁は、上記説明について確認するとともに、以下のとおりコメントした。
  - 「『福島県原子力発電所安全確保技術検討会が取りまとめた8項目の要求事項』に対する検討状況について」の要求事項⑤（外堰の拡張・嵩上げ及びタンク間連結弁の自動「閉」）に対する検討については、タンク等既存設備に対して悪影響を及ぼさないように設計を進めるとともに、具体的な設計等が固まった段階で報告すること。
  - 使用済燃料プール水質状況について、次回以降の資料にてライナードレンの変化に関する項目を追記して報告すること。
- 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

#### 6. その他

資料：

- 『福島県原子力発電所安全確保技術検討会が取りまとめた8項目の要求事項』に対する検討状況について
- 3号機使用済燃料プール内の制御棒等高線量機器取り出しについて
- 循環注水冷却スケジュール（2022年11月11日現在）
- 使用済燃料プール対策について（2022年11月11日現在）
- 燃料デブリ取り出し準備（2022年11月11日現在）
- 使用済燃料プール水質状況について
- 福島第一原子力発電所第1号機、第2号機及び第3号機の原子炉内温度計並び

に原子炉格納容器内温度計の信頼性評価について（2022年11月提出）

以上